



THE SENDAI BANK
Disclosure

PRESSO

仙台銀行 2008年 ディスクロージャー誌 別冊 [エス・プレzzo]



ずっと、ずっと、 よろしくお願ひします

古川支店リニューアルオープン

全国屈指の穀倉地帯にあり、「ひとめぼれ」、「ササニシキ」の生まれ故郷として有名な宮城県大崎市。

大崎市中心部にある仙台銀行古川支店は、お客さまへのさまざまなサービス機能を大幅に充実させ、平成20年4月にリニューアルオープンいたしました。



これからも「ずっと、ずっと、よろしくお願ひします」

1

「シンプルモダン」をキーワードに、周辺の街並みとの調和を優先したデザインを採用するとともに、ロビーを吹き抜け・ガラス張りにし、開放的で居心地の良い店舗空間を創出いたしました。

2

資産運用や住宅ローン等についてゆっくりご相談いただける個室の専用ブースを3ヶ所新設したほか、お客さまの大切な資産を保管いただける全自動貸金庫を新設いたしました。

3

当行の「お客さま満足度アンケート」で「駐車場を使いやすくしてほしい」との要望が多数寄せられたことから、駐車場を優先したレイアウトを採用し、ゆとりある駐車スペースを確保いたしました。

4

中小企業の皆さまへの融資提案や事業相談を専門に担当する職員を配置し、さまざまな事業ニーズによりスピーディに対応できるようにいたしました。

仙台銀行は、「お客さま満足度アンケート」や本支店窓口へ寄せられたお客さまの声を大切にし、これからも「お客さまがより満足いただける店舗づくり」を進めてまいります。

S- P R E S S O

仙台銀行は、設立の原点である「宮城県の中小企業の皆さまに役立つ」ことが企業使命です。仙台銀行の業績やトピックスを2008年ディスクロージャー誌 別冊「Spresso (エス・プレッソ)」に分かりやすく“濃縮”しましたので、どうぞご覧ください。

「S」 SENDAI BANK 「press」 内容の濃い情報発信 「O」 原点を忘れない
ゼロ

※2008年3月期の詳細な財務データにつきましては、「2008年 ディスクロージャー誌 本編」をご覧ください。



古川支店グランドオープンイベント(平成20年4月)

contents

ずっと、ずっと、よろしくお祈いします

頭取メッセージ 02

地域の皆さまとともに 06

- ◎ 仙台銀行の地域貢献活動 06
- ◎ 個人の皆さま 07
- ◎ 中小企業の皆さま 10
- ◎ 仙台銀行を希望する皆さま(採用関係) 11
- ◎ トピックス 12
- ◎ 仙台銀行のCSR 13
- ◎ 仙台銀行のあゆみ 14
- ◎ 店舗ネットワーク 15

業績のハイライト(個別) 16



President Message

頭取メッセージ

仙台銀行 取締役頭取

三井 精一

「宮城県の中小企業の方々のために役立つ」 ことが当行の企業使命

仙台銀行の設立には、「宮城県」が深くかかわっているとお聞きしましたが。

戦後の経済混乱も終息しつつあった昭和26年、当時の宮城県の商工業界は深刻な資金難にあり、金融の円滑化が大きな課題となっていました。こうした中、当時の宮城県知事・佐々木家寿治氏の提唱により、宮城県が資本金の4割を出資し、同年5月に当行の前身である「振興無尽株式会社」が誕生しました。

設立にあたっては、宮城県のほかに、仙台・塩釜・石巻・古川（現 大崎）・気仙沼・白石の県内の地方自治体、商工会議所、地元経済界等から幅広い出資をいただきました。当時、都道府県が直接出資して金融機関を設立することはあまりなかったようです。

現在でも宮城県や仙台市、そして県内市町村の一部には株主になっていただいております、地方公共団体との結びつきが非常に強いことが当行の特徴です。

このような設立の経緯からも分かるとおり、当行はまさに宮城県の皆さまによって設立された「県民銀行」であり、宮城県の中小企業の方々のために役立つことが当行の企業使命と考えております。

また、当行は営業店が71カ店ありますが、そのうち70カ店を宮城県に配置しており、名実ともに宮城県に特化した地域金融機関であると自負しております。

宮城県各地の魅力を紹介する仙台銀行のテレビCMが好評ですね。

このCMは、平成20年10月から始まる大型観光キャンペーン「仙台・宮城アステーションキャンペーン」を応援するため、当行が独自に企画・制作したものです。「仙台銀行がある街～わたしたちのホームタウン～」をテーマに、河口恭吾さんのオリジナル応援曲にのせて、宮城県各地の魅力を4編のCMに盛り込みました。

CM撮影は県内各地で行いましたが、撮影の際、当行職員のほか、地域の皆さまにも快く出演していただきました。まさに地域の皆さまと一緒に作ったCMだと思います。

お陰さまで、このCMは平成19年6月に放映して以来、多方面で好評を得ており、平成19年度仙台広告賞優秀賞をいただきました。CMでは「ずっと、ずっと、よろしく願います」という当行のメッセージを伝えていますが、そうした地域密着の姿勢を県民の皆さまに評価していただいたため、受賞することができたのだと思います。なお、CMは当行ホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。

平成20年3月期決算について

平成20年3月決算についてご説明ください。

平成20年3月期の当行決算は、アメリカのサブプライム住宅ローン問題に端を発して金融市場が不安定となった余波を受け、当行保有の一部有価証券の価格が予想を超えて大幅に下落し、30億円の減損処理を実施いたしました。



仙台銀行
取締役頭取

三井 精一

このため誠に遺憾ではございますが、経常損失12億円、当期純損失20億円を計上するに至りました。このような業績となりましたことに対して、株主の皆さまやお取引先の皆さまに深くお詫び申し上げます。

なお、平成20年度は、法人営業体制の大幅な強化、経

費削減や事務改善による経営の一層の効率化に取り組み、皆さまのご期待に応える業績が確保できる見込みでございます。どうぞご安心ください。

中期経営計画 「新・好品質計画」への 取り組み

中期経営計画「新・好品質計画」について教えてください。

当行にとって平成20年度は、徳陽シティ銀行営業譲渡から10年、普銀転換から20年の大きな節目となります。この節目の年に、新しい中期経営計画である「新・好品質計画」（平成20年度・21年度）がスタートしました。

これからの新しい10年間に向けて、当行は経営環境の変化に的確に対応しながら、地域の皆さまの期待に応え、「宮城県に特化した地域金融機関」としての役割・機能をさらに発揮していくことが課題であると考えています。

今後、宮城県では、自動車関連産業等の集積による経

济効果が多方面へ及び、新たなビジネスチャンスが生まれることも期待されています。こうした恵まれた地の利を最大限に活かし、「より多くのお客さまに支持・信頼をいただける銀行」を目指していくことが当行の目標です。

中期経営計画「新・好品質計画」では、こうした考えのもとに「営業力の強化」、「企業風土の改革」、「内部管理態勢の強化」の3つの重点ポイントに取り組んでまいります。

「営業力の強化」への具体的な取り組みについて教えてください。

当行が実施した「お客さま満足度アンケート」によると、お客さまには、当行の最も良い点として「親しみやすく、地域に密着している」と評価していただきました。宮城県の地域金融機関として、お客さまにこのような評価をいただいたことは非常に心強く、また、うれしく思っています。

この「親しみやすく、地域に密着している」という強みを活かし、当行では、これまで以上にお客さまへの訪問や面談の機会を増やし、さまざまなニーズに迅速に対応してまいります。

具体的には、年々高まりつつある「資産運用等への相談

ニーズ」に対しては、平成20年4月にグランドオープンした古川支店（大崎市）に個室タイプの相談窓口を設置したほか、ファイナンシャルプランニング技能士を継続的に養成するなど、お客さまの相談に的確に対応できる体制づくりを進めます。個室タイプの相談窓口は、既に数カ店に設置済みであり、平成20年秋に新築移転予定の佐沼支店（登米市）にも設置する予定です。

また、当行では推進部（本部）に、宮城県内の中小企業等の皆さまへ直接訪問し、融資のご提案や事業相談を専門に担当する「法人融資専門チーム」を設置していますが、平成20年4月に本チームを大幅に増員し、併せて、古川支店にメンバーの一部を常駐することにしました。本チームは、各地域の営業店と連携して、融資のご提案や事業相談をさらに充実させ、中小企業等の皆さまのさまざまな事業ニーズによりスピーディに対応してまいります。

「企業風土の改革」への取り組みについて教えてください。

情報開示については、株式公開銀行と同様の情報開示に取り組んでいますが、今後も当行の経営・財務内容についてわかりやすい情報開示を進め、株主やお取引先の皆さま

「新・好品質計画」の構成図

[めざす姿]

[計画目標]

より多くのお客さまに支持・信頼をいただける銀行

1. 営業力の強化

中小企業を対象とした地域密着型金融に経営資源を集中的に再配置するなど、営業体制を再構築することでお客さまのニーズにスピーディーに対応し、競争力と収益力を向上させてまいります。

- ◎法人営業体制の強化
- ◎営業店事務の合理化
- ◎住宅ローン・個人ローンのトラバン営業の強化
- ◎預かり資産の強化

2. 企業風土の改革

人事制度等の見直しにより職員のさらなる能力アップに取り組み、より活力のある企業風土づくりを進めます。

- ◎人事制度・人材育成への取り組み

3. 内部管理態勢の強化

業務範囲の広範化や取扱商品の複雑化によるリスクの多様化を踏まえ、内部管理態勢の高度化に取り組み、業務運営の健全性をさらに高めます。

- ◎内部管理態勢の高度化

まに当行の経営状況をより深く理解していただけるよう努めてまいります。

人材育成については、銀行業務の多様化に対応するため、中途採用を継続的に実施するとともに、非正規社員である「パートナー社員」の積極的な能力開発・活用に取り組んでまいります。また、人事制度の見直し等を進め、より活力のある企業風土の醸成に取り組んでまいります。

3つ目の「内部管理態勢の強化」とは、どういうものですか。

銀行業務が多様化する中、業務運営に内在するリスクも多様化しており、これらのリスクを的確に把握・管理していくことが重要となっています。

こうしたことから、当行では、業務運営の健全性を強化する観点で、法令等遵守態勢、お客さまへの説明態勢、リスク管理態勢など内部管理態勢の高度化を重要課題として位置づけ、継続的に態勢整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、銀行業務の礎である「お客さまからの信頼」を得ることにつながり、また、当行の行是である「信を万事の本と為す」にも通ずるものと考えています。

これからの仙台銀行

これからの仙台銀行について三井頭取のお考えを教えてください。

当行は「宮城県の中小企業金融の円滑化」を目的に誕生した地域金融機関です。この目的は時代や環境が変わろうとも不変のテーマであり、当行が地域社会へ果たすべき使命であると考えています。常にお客さまを中心に経営を進め、地域に役立つ金融機関でありつづけることが当行の果たすべき役割であると考えています。

現在のお取引先さまや、株主の皆さまとの交流についてお聞かせください。

当行には、お取引の事業主の方々や株主の皆さままで組織している「千成会」があります。この「千成会」は各営業店が事務局となって運営しており、宮城県内各地で開催される千成会の行事には私をはじめとした役職員が出席し、当行の経営方針や業績等の説明をしております。また、会員の皆さまから当行に対する忌憚きたんのない意見を直接お聞きできる貴重な機会でもあります。

会員の皆さまから寄せられる声は、私たち役職員にとって何よりも大切な財産です。これからも積極的にお取引先のお皆さまや株主の皆さまの声を直接お聞きしていきたいと思っております。

最後に、地域の皆さまへのメッセージをお願いします。

宮城県の経済は、地域間や業種間の格差が拡大するとともに、特に公共投資や個人消費が低調に推移していることから景気回復の足踏みが続いています。そのため、中小企業等の経営環境は、依然として厳しいものがあります。

こうした中、当行は宮城県の中小企業の皆さまとともに歩む地域金融機関として、皆さまの信頼とご期待にお応えできるよう精一杯努力してまいります。今後も一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



President
Message
頭取メッセージ

仙台銀行の地域貢献活動

仙台銀行の地域貢献とは

当行は、昭和26年に宮城県知事の提唱により、「宮城県の中小企業の金融円滑化」を目的に、宮城県が資本金の4割を出資して設立された地域金融機関です。「宮城県の中小企業の方々のために役立つ」ことが、当行の企業使命であり、地域貢献であると考えております。

具体的には、事業資金やローンの提供という資金供給にとどまらず、経営相談やコンサルティング業務等を通じて中小企業の活動を多面的に支援していくことが、当行における地域貢献であると考えております。それと同時に、各種セミナーや講演会等の開催、地域行事への参加等も地域発展に必要なことであると考えております。

これからも当行は、地域貢献に関する情報をより一層積極的に開示し、地域の皆さまからご理解、ご満足いただけるよう努めてまいります。

■預金・譲渡性預金残高の内訳
(平成20年3月末現在)



預金・譲渡性預金残高
7,128億円



宮城県内の預金・譲渡性預金残高
7,114億28百万円

■貸出金残高の内訳
(平成20年3月末現在)



貸出金残高
4,813億84百万円



宮城県内の貸出金残高
4,717億35百万円

当行の預金・譲渡性預金の状況

当行の預金・譲渡性預金残高7,128億円のうち、宮城県内のお客さまより7,114億28百万円をお預かりしており、当行の預金・譲渡性預金残高全体の99.81%となっております。

そのうちの79.86%を占める5,681億34百万円を、宮城県内の個人のお客さまからお預かりしております。

当行の貸出金の状況

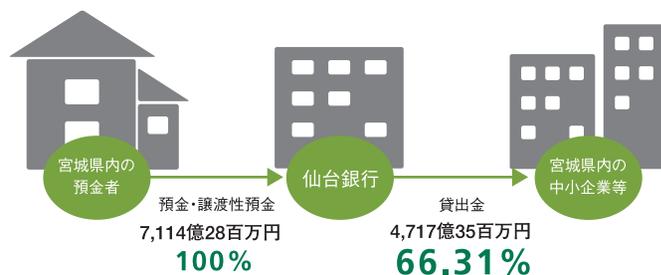
当行の貸出金残高4,813億84百万円のうち、宮城県内のお客さまへの貸出金残高は4,717億35百万円となっており、当行の貸出金残高の98.00%となっております。

そのうち41.52%を占める1,958億57百万円を宮城県内の中小企業の方々にご融資しております。

県内への資金供給

当行は、宮城県内のお客さまからお預かりした預金・譲渡性預金7,114億28百万円の66.31%を宮城県内の中小企業や個人のお客さまなどへご融資し、地域への円滑な資金供給を行っております。

■当行における宮城県内預金・譲渡性預金と貸出金の状況(平成20年3月末現在)

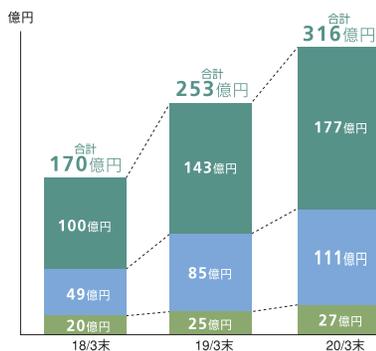


個人の皆さま

預かり資産残高

当行の公共債及び投資信託、生命保険を対象とした預かり資産残高は316億49百万円となっております。

■預かり資産残高の推移



(注1) 生命保険:個人年金十一時払終身

(注2) 生命保険残高は成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

投資信託

お客様のあらゆる資産運用ニーズにお応えするとともに、ライフプランに合った資産形成のお役に立てるように、さまざまな投資信託商品を取り揃えております。

多様化するお客様へのニーズにお応えするため、平成20年6月から、投資信託商品に3商品を新たに追加しました。



資産運用セミナー

お客様に資産運用についての理解を深めていただくために、資産運用セミナーを随時開催しております。

セミナーは、資産運用の基本についての説明や個別の運用相談など、お客様のご要望に応じた内容となっており、お客様から好評をいただいております。



資産運用セミナー(古川支店)

株式会社 仙台銀行
登録金融機関 東北財務局長(登金)第16号
加入協会:日本証券業協会

金融商品に関する勧誘方針

当行は金融商品の販売等にあたり、以下の方針に沿って適切な勧誘を行います。

- 1 わたしたちは、金融商品の内容を十分に熟知したうえで、その内容を正しくお客様にご説明いたします。また、断定的な判断の提供や事実と異なる情報の提供など、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。
- 2 わたしたちは、お客様ご自身のご判断によりお取引いただけるよう、リスク内容などの重要な事項について、書面での交付その他の適切な方法によりご理解をいただくよう努めます。
- 3 わたしたちは、お客様のご迷惑となる時間帯には、金融商品の勧誘は行いません。なお、事前にお客様のご了解をいただいている場合を除きます。
- 4 わたしたちは、お客様に金融商品に関する十分かつ的確な情報を提供するため、当該金融商品に関する商品特性、事務処理要領などの習得、研さんに努めます。
- 5 わたしたちは、お客様の知識、経験、財産状況及び当該金融商品の販売に係る契約を締結する目的に照らし配慮すべき事項を踏まえ、適切な商品の勧誘を行います。
- 6 わたしたちは、金融商品販売法、金融商品取引法及び関係法令等を遵守し、適切な勧誘が行われるよう、内部体制の強化に努めます。

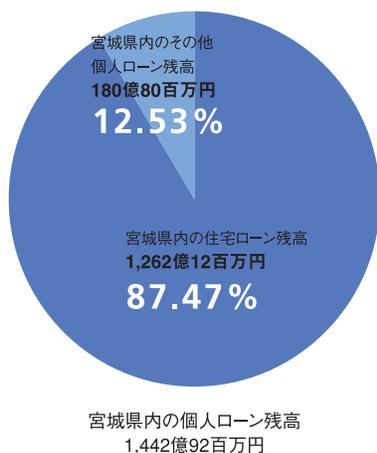
当行では、お客様からの苦情、ご要望に対する相談を承っておりますので、ご遠慮なく営業店窓口までお申しつけ下さい。

個人の皆さま

県内の住宅ローン残高

当行の宮城県内の個人ローン残高1,442億92百万円のうち、住宅ローン残高は1,262億12百万円であり、宮城県内個人ローン残高全体の87.47%を占めております。

■宮城県内の個人ローン残高の内訳 (平成20年3月末現在)



住宅ローンプラザ

住宅ローンについて、ゆっくりご相談いただくために、本店(日曜日は仙台東口支店)に住宅ローンプラザを設置しております。

専門のスタッフがご相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

営業時間	平日 9:00~20:00	日曜日 10:00~17:00
場所	本店ビル5階	仙台東口支店
休業日	土曜日・祝日・振替休日	
お問合せ先	フリーダイヤル 0120-3000-39	

※平日は、仙台銀行本店ビル5階で営業しておりますが、日曜日は、仙台東口支店で営業しておりますのでご注意ください。

住宅ローンへの取り組み

◎ず〜っと金利優遇プラン

お客さまのニーズにお応えするため、「ず〜っと金利優遇プラン」を取り扱っております。詳しくは、住宅ローンプラザまたは本支店窓口にお問い合わせください。

(ホームページにも掲載しております。)

◎住宅ローン借換

特別金利キャンペーン

他の金融機関から住宅ローンの借換をご希望されるお客さまを対象に「住宅ローン借換特別金利キャンペーン」を実施しております。

(平成20年9月30日までに正式にお申し込みをされ、平成20年11月28日までに融資実行が可能な方が対象となります。)

◎ご来店不要型仮審査

住宅ローンのご利用を考えていても、銀行の窓口へ来店する時間がとれないお客さまのニーズにお応えするため、「ご来店不要型仮審査」の受付を行っております。

なお、当行ホームページでは、キャンペーン情報のほか、住宅ローン入門(諸費用、借換まめ知識など)や住宅ローンシミュレーションなど、住宅ローンに関する情報を掲載しておりますのでぜひご覧ください。



■住宅ローン「ご来店不要型仮審査」の流れ



インターネットでも仮審査申込可能! スーパーフリーローン

スーパーフリーローンは、お使いみちが自由で、当行とお取引がない方でもお申し込みができます。電話やファックスのほか、インターネットでも仮審査申込ができ、好評をいただいております。

高く
選んで!

7.8%
年
同時審査12.8%
同時審査、お申し込み

お申し込みは
インターネット
でも受付中!

お取引
がない方
でもOKです!

お申し込みは電話やネットで!

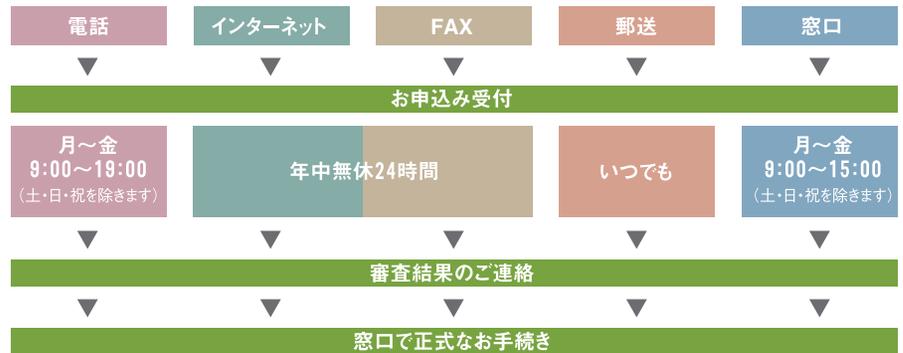
仙台銀行の
スーパーフリーローン

借額により返済方法が異なります。お申し込みの際は、お申し込みの旨をお知らせください。
[30-200万円/お取引のない方でもOKです!]

0120-6000-39
http://www.sendai-bank.co.jp/

仙台銀行

■スーパーフリーローンのお申し込みの流れ



夏の感謝祭

平成20年6月2日から「夏の感謝祭」を実施しております。日頃から当行をご愛顧いただいておりますお客さまへ抽選で遠刈田温泉「温泉山荘・だいこんの花」1泊2日ペア宿泊をプレゼントいたします。(平成20年8月31日まで)



遠刈田温泉「温泉山荘・だいこんの花」

中小企業の皆さま



創業塾

創業塾 ～起業家応援講座～

創業に関心のある方や創業をお考えの方を対象に、平成20年2月から全10回のプログラムで「創業塾」(国民生活金融公庫共催)を開催しました。

「創業塾」では、創業に必要な知識の習得やビジネスプランの作成演習を行うなど、創業に向けた実践的な研修を実施しました。

仙台銀行ビジネスクラブ

「仙台銀行ビジネスクラブ(略称SBC)」は、お取引先の事業者の方を会員として構成しており、平成20年3月末現在の会員数は708名となっております。

平成19年10月に楽天株式会社と業務提携し、「ネットショップ商談会」を開催しました。また、平成20年2月の講演会に、野球解説者の田尾安志氏を講師に迎えて講演会を開催しました。



野球解説者 田尾安志氏

法人融資専門チーム

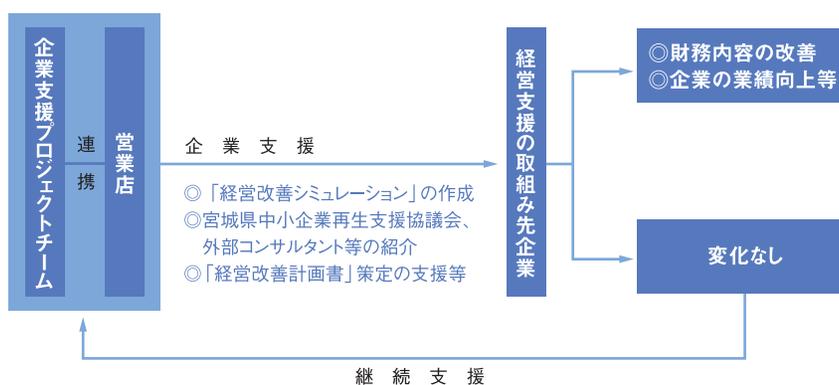
中小企業等の皆さまへの融資支援体制をさらに充実させるため、平成20年4月に法人融資専門チームを増員し、18名体制といたしました。

また、本チームの4名が古川支店(大崎市)に常駐する体制とし、中小企業等の皆さまの事業ニーズにスピーディに対応しております。

経営改善支援

本部内に「企業支援プロジェクトチーム」を設置し、営業店とともに、お取引先の皆さまの経営環境や経営活動の分析、「経営改善シミュレーション」等による改善アドバイスを積極的に行っております。

■経営改善支援の流れ



協調融資

当行は、平成18年11月に農林漁業金融公庫と「業務協力に関する覚書」を締結し、農林畜水産業及び関連ビジネスの発展に意欲的に取り組む事業者皆さまに対し、積極的なサポート活動を行っております。

平成20年3月に、農林漁業金融公庫との協調融資として、畜産業者に対して農業施設資金及び運転資金の融資を実施いたしました。



インターネット

ビジネスバンキングサービス

法人・事業者さま向けの「インターネットビジネスバンキングサービス」では、振込・振替のほか、「Pay-easy」による税金等のお支払いができます。

お振込手数料は窓口受付よりも安く、大変便利なサービスです。

(ただし、契約料(初期費用)及び月額基本料がかかります。)

仙台銀行を希望する皆さま（採用関係）

当行は、お客さまにご満足いただくためには、職員一人ひとりがやりがいを持って働くことが重要であると考えております。

職員一人ひとりの特性や能力を生かすために当行は、さまざまな採用制度を導入しております。

新卒採用

自分の力を地域へ役立てたい、自分の人生を充実させたいという熱意ある学生の皆さんを募集しております。

また、内定した学生の皆さんを対象に、営業店訪問等を実施し、銀行の仕事を肌で感じ、自分の将来像や目標を明確にしてもらうなど、入行までの準備を幅広くサポートしております。

中途採用

多様化する銀行業務に対応するため、銀行・保険・証券会社等の金融機関経験者や、豊富な専門知識・経験を持つ人材を募集しております。

パートナー社員制度

平成19年10月から、非正規社員の戦力化を図るために「パートナー社員制度」を導入い

たしました。

パートナー社員は、短時間パートナーとフルタイムパートナーに分かれております。フルタイムパートナーは、勤務時間が正社員と同一であり、必要資格の取得等により、正社員への登用も可能となっております。

また、結婚、出産、育児、介護等を理由として過去10年以内に退職した当行元行員をフルタイムパートナーとして再雇用しております。

インターンシップ

学生の皆さんに金融知識を学び、銀行業務を体験してもらうために、インターンシップを実施しております。

インターンシップでは、普通預金口座の開設や取引先訪問、預金窓口でお客さまの応対を体験するなど、銀行業務だけでなく社会人としてのマナーも体験してもらうカリキュラムとなっております。

詳しくは、[当行ホームページ](#)
「[採用情報](#)」をご覧ください。



トピックス (平成19年4月～平成20年6月)

Topics	
平成19年 4月	◎住宅ローン「金利優遇プラン」・ 「ご来店不要型仮審査」を開始
5月	入金 ネット ◎ATMでの相互入金取引サービスを開始
6月	◎企業イメージCM 「仙台銀行がある街」の放映を開始 ◎「仙台銀行 夏の感謝祭」を実施 (平成19年6月1日～8月31日)
	◎「仙台銀行 悠遊プラン」を販売(平成19年6月1日～9月28日)
8月	◎企業イメージCM「仙台銀行がある街」 全4編の完成
9月	◎「仙台銀行 悠遊プラン」を販売 (平成19年9月3日～平成20年1月31日) ◎「創業支援セミナー」を開催(平成19年9月22日)
10月	◎「ネットショップ商談会」を開催(平成19年10月29日)
11月	◎秋季講演会を開催(平成19年11月9日)
12月	◎「仙台銀行 冬の感謝祭」を実施 (平成19年12月3日～平成20年1月31日)
平成20年 1月	◎新春経済講演会を開催 (平成20年1月7日)
2月	◎「創業塾」を開催 (平成20年2月13日～3月18日)
3月	◎「住宅ローン借換特別金利キャンペーン」を実施 (平成20年3月14日～9月30日)
4月	◎古川支店 グランドオープンイベントを開催 (平成20年4月19日)
6月	◎「仙台銀行 夏の感謝祭」を実施 (平成20年6月2日～8月31日)

講演会

当行では、毎年1月と11月に本店9階講堂において講演会を開催しております。

平成19年11月に開催した秋季講演会では、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を応援するため、脚本家の内館牧子氏を講師に迎えて、「仙台・宮城の魅力」をテーマにご講演いただきました。

平成20年1月に開催した新春経済講演会では、作家の江上剛氏を迎えて、「アジアビジネス最前線」をテーマにご講演いただきました。



脚本家 内館牧子氏



作家 江上剛氏

営業店レター

営業店エリアのさまざまな情報を当行ホームページ「営業店レター」に掲載しております。

「営業店レター」は毎月更新し、営業店の紹介のほか、各エリアのイベントやおすすめスポット等の地域情報を掲載しております。



営業店レター(将監支店)

仙台銀行のCSR

公益信託「仙台銀行まちづくり基金」

宮城県内でまちづくり活動等に取り組んでいる方々を応援するため、平成4年6月に創業40周年記念事業として公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を設立いたしました。

設立以来16年間での助成累計は、56先、総額715万円となっております。



白石商工会議所(白石市)



三本木まちづくり協議会(大崎市)



将監支店

職場見学

小学生や中学生を対象に、「銀行の仕事」をより理解してもらうことを目的に、本店及び支店において職場見学を行っており、平成19年度は13回開催しました。

職場見学では、銀行業務の説明やお札の数え方体験、銀行窓口の見学等を行っております。

なお、見学風景はホームページ「仙台銀行をみてみよう!」に掲載しております。



本店

無料法律相談室

当行顧問弁護士による無料法律相談を本店2階相談室にて毎月開催しております。(予約制)

地域行事への参加

本店のある仙台市では、1月の「どんと祭」、5月の「仙台青葉まつり」、8月の「七夕まつり」と四季折々に行事が開催されます。当行は地域の一員として、積極的にこれらの行事に参加しております。

また、各支店の所在地で行われる行事にも積極的に参加し、地域の活性化に協力しております。



仙台青葉まつり「すずめ踊り」

CSR:Corporate Social Responsibilityの略。企業が果たすべき社会的責任。

仙台銀行のあゆみ

戦後の経済混乱も治まりつつあった昭和26年、宮城県下の商工業界の資金難から金融の円滑化が強く叫ばれていた中で、各地商工会議所等商工団体の要望に応え、当時の宮城県知事佐々木家寿治氏が金融機関設立を提唱し、宮城県が資本金の4割を出資し昭和26年5月25日振興無尽株式会社が誕生いたしました。

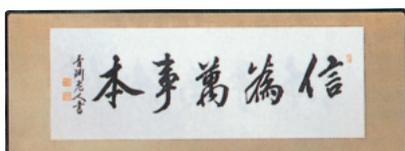
行是「信を万事の本と為す」に立脚し、公正明朗かつ堅実な業務運営により設立の使命である国民貯蓄の増強と中小企業金融の円滑化に寄与することを経営理念に掲げ、昭和26年7月5日に創業いたしました。



本店社屋（昭和29年～44年）



本店（昭和44年竣工）

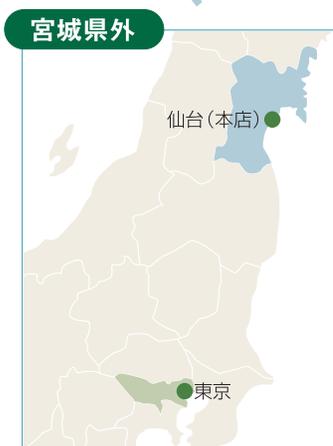


行是「信為萬事本」(しんをばんじのもととなす)
我が国銀行の創始者であり、経済道徳合一主義の提唱者である渋沢栄一氏の揮毫

昭和26年	1951年5月	振興無尽(株)設立	平成10年	1998年3月	徳陽シティ銀行からの営業譲受けに関する契約を締結
	7月	業務取扱開始		4月	ATM祝日稼働開始
昭和27年	1952年5月	相互銀行法の施行により(株)振興相互銀行と商号変更		11月	徳陽シティ銀行営業譲受け完了(譲受け店舗19カ店、うち既存店舗2カ店統合)
昭和36年	1961年7月	創業10周年			預金高7,000億円達成
昭和44年	1969年5月	新本店落成開店(現本店)	平成11年	1999年2月	普通銀行転換10周年
昭和46年	1971年7月	創業20周年	平成12年	2000年4月	仙銀カード(株)設立(同年6月営業開始)
昭和49年	1974年3月	資金量1,000億円達成		5月	新オンラインシステム稼働開始
昭和56年	1981年7月	創業30周年	平成13年	2001年7月	創業50周年
昭和58年	1983年4月	公共債の窓口販売開始	平成14年	2002年1月	ATM365日稼働開始
昭和59年	1984年9月	外国為替公認銀行として業務開始		3月	東北第二地方銀行5行によるATM提携サービス開始
昭和61年	1986年3月	資金量3,000億円達成		4月	中期経営計画「ステップ・アップ・プラン」開始
平成元年	1989年2月	普通銀行へ転換し(株)仙台銀行に商号変更		8月	四半期情報開示の開始
平成2年	1990年5月	第三次オンライン(勘定系)開始		10月	生命保険の窓口販売開始
	7月	仙銀ビジネス(株)設立	平成15年	2003年2月	大東銀行仙台支店営業譲受け
平成3年	1991年7月	創業40周年	平成16年	2004年2月	住宅ローンプラザ開設
平成4年	1992年4月	公益信託「仙台銀行まちづくり基金」設立認可		4月	中期経営計画「ステップ・アップ・プランII」開始
平成6年	1994年3月	預金高5,000億円達成	平成17年	2005年4月	「好品質計画」開始
	4月	信託業務(代理店方式)取扱開始(取扱店本店営業部外9カ店)	平成18年	2006年4月	中期経営計画「好品質計画」開始
	7月	振込機能付ATMによる為替振込サービス取扱開始		5月	(株)セブン銀行とのATM利用提携開始
平成7年	1995年7月	カードによるATM預入サービス開始		11月	岩手銀行とのATM相互開放開始
平成8年	1996年3月	メールオーダーサービス開始	平成19年	2007年6月	本店ビル耐震工事了
			平成20年	2008年4月	中期経営計画「新・好品質計画」開始

店舗ネットワーク

当行は、営業店71カ店のうち70カ店、ならびに225台のATM（CDを含む、店舗内ATM129台・店舗外ATM96台）を宮城県全域に配置し、お客さまの利便性の向上に取り組んでおります。（平成20年6月末現在）



佐沼支店リニューアル

平成20年秋に、佐沼支店を新築オープンする予定です。新店舗では、個室タイプの相談窓口の設置や、駐車場の拡充など、より利便性の高い店舗づくりを進めております。



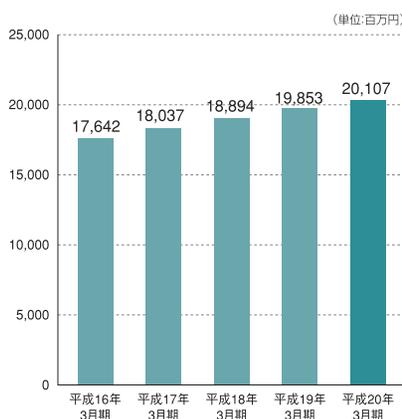
佐沼支店 完成予想図

業績のハイライト（個別）

The highlight of achievements

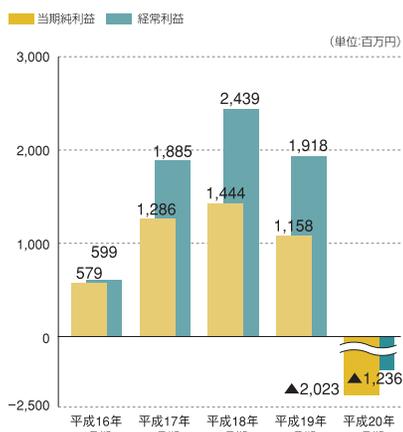
経常収益

経常収益は、有価証券利息配当金や貸出金利息が増加したことなどから、201億7百万円（前年同期比1.2%増）となりました。



経常利益・当期純利益

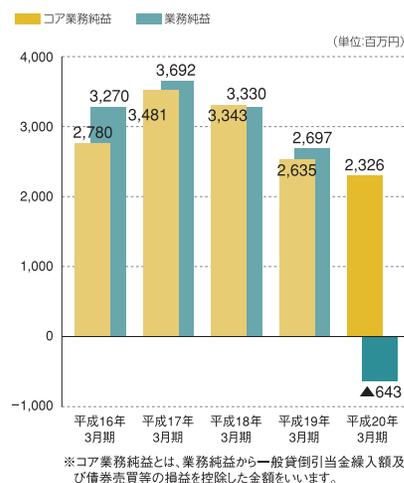
経常利益は、コア業務純益の減少と貸倒償却引当費用の増加のほか、有価証券の減損処理により、12億36百万円（前年同期比164.4%減）の損失となりました。また、当期純利益も20億23百万円（前年同期比274.6%減）の損失となりました。



コア業務純益・業務純益

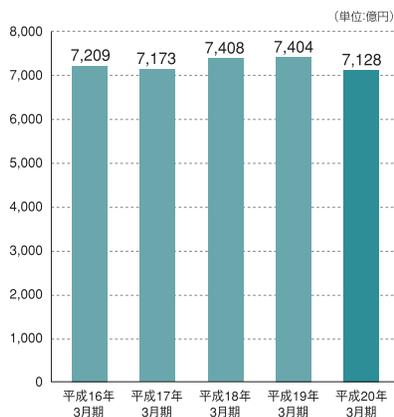
銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、預金利息の増加により資金利益が減少したことなどから、23億26百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

業務純益は、有価証券の減損処理により、6億43百万円（前年同期比123.8%減）の損失となりました。



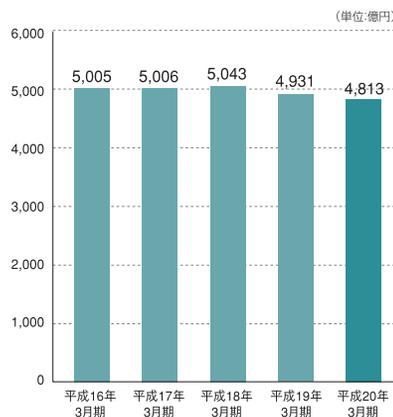
預金・譲渡性預金残高

預金・譲渡性預金残高は、主力の個人預金が増え、引き続き堅調に推移したものの、景況回復の遅れなどを背景に法人預金や公金預金が減少したことなどから、7,128億円（前年同月比3.7%減）となりました。



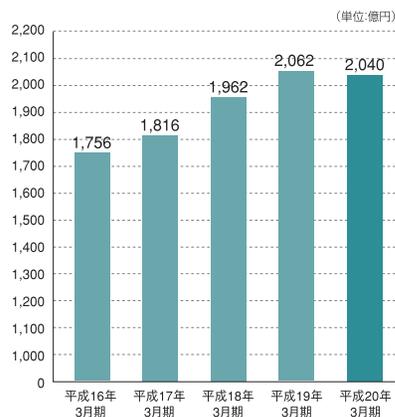
貸出金残高

貸出金残高は、地方公共団体向け貸出は堅調に推移したものの、中小企業向け貸出や住宅ローン残高が減少したことなどから、4,813億84百万円（前年同月比2.3%減）となりました。



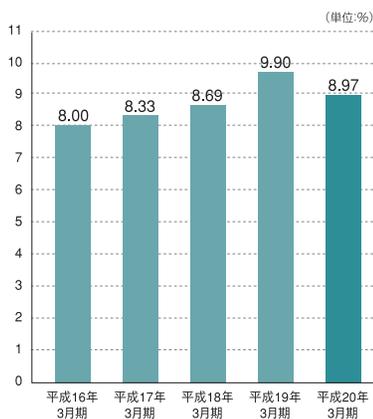
有価証券残高

有価証券残高は、国債等は増加しましたが、社債や株式等が減少したことなどから、2,040億13百万円（前年同月比1.0%減）となりました。



単体自己資本比率(国内基準)

単体自己資本比率(国内基準)は、前年同
期比0.93ポイント低下し、8.97%となりました。



格付

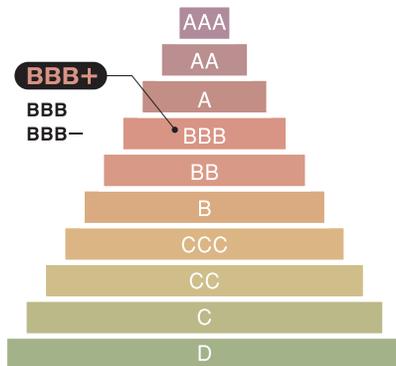
当行は、第三者による評価をとおして、財務
内容の健全性と経営の透明性を積極的に開
示するため、平成19年10月に株式会社日本格
付研究所(JCR)より格付を取得いたしました。

格付機関
株式会社日本格付研究所(JCR)

格付種類
長期優先債務格付

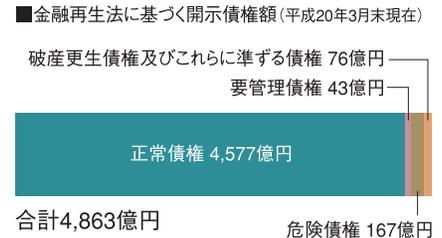
格付
BBB+(トリプルBプラス)

見通し
安定的



金融再生法開示債権

金融再生法に基づいた資産査定の結果、
銀行の保有する債権(貸出金・支払承諾見
返等)のうち、正常債権以外の債権額は、286
億37百万円(前年同月比10億92百万円増)
となりました。



金融再生法開示債権の保全内訳

(平成20年3月末現在、単位:百万円)

	債権額(A)	保全額(B)		保全率(B/A)
		担保・保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,606	7,606	5,764	100.00%
危険債権	16,713	15,495	13,709	92.71%
要管理債権	4,317	2,340	1,412	54.21%
正常債権	457,758	263,874	262,914	57.64%
合計	486,396	289,317	283,801	59.48%

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等
の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及
びこれらに準ずる債権。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態
及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収
及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものと
して、上記3つの債権以外のものに区分される債権。

不良債権比率の推移



好品質計画



仙台銀行の概要 (平成20年3月末現在)

創 業	昭和26年7月5日
資本金	74億85百万円
本 店	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
店舗数	71カ店 (宮城県内70カ店、東京1カ店)
行員数	765人 (男子557人、女子208人)
預金・譲渡性預金	7,128億円
貸出金	4,813億円

株式会社仙台銀行 企画部
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241 (代)
平成20年7月発行

ホームページ <http://www.sendaibank.co.jp/>



このカタログは大豆油インキで印刷しています